
スクールライフ

輝奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スクールライフ

【Nコード】

N5851Y

【作者名】

輝奈

【あらすじ】

シリーズ2スクール編です

告白（前書き）

こんばんわ、章が変わりながらもシリーズとしてまだ続けるつもりです

今回の作品にも付き合ってくださいれば幸いです。

告白

「やだ。」

告白の返事はすでに分かっていたはずなのに、心がやけに痛む。

「お前！！頼むよ。凜。」

「バーカ！！。」

今日だけで数えればきつと俺が世界で一番フラれている。

本日12回目の告白もきっぱりフラれ、男子からは同情の溜息。

女子からは、安心の溜息が漏れていた。

必要以上に整った顔立ちの凜と翔。

1つ上の夏輝。

彼らは幼馴染であり、学校の中の人気数を3つに分けていた。

特に、この学校の男子のレベルの低さで、翔は全女子生徒の9割を占める人気を誇っていた。

「ああ、龍夜に頼んでまで俺をひっぱて来たのは誰かな？」

龍夜の名前を出した瞬間あたりが凍りつく。

しかし、その彼女だった夏輝が聞いても、落ち込むことはなかった。

「その私が、告白した直後にお腹を鳴らせたのはだれかな？」

「俺です。」

「はい、おしまい。」

凍り付いていた空気が和む。

肩越しに見える幽霊姿の龍夜君はお茶目に野次馬の男子の1人1
人の靴紐を解いていた。

スルー

「龍夜、ああ言うことはやめなさい。」

「ええ、暇やし、だれもきずついてくれへんねんもん」

「ねんもんつて、まだで夏輝にバラそか？ 実は成仏できずにここにいます つて」

「我慢いたします。」

星が空に輝く夜道、自転車を転がす凜の隣りには幽霊と幽霊に為りかけている翔がいた。

「そろそろ機嫌直してよ」

「おれは・・・。」

「ああ。うつとうしい！！」

「ああ！！夏輝。 どうか行くの？」

「え？ ああ凜。 塾」

「そう。」

「翔はあれから何回ふられた？」

「16回・・・。。。」

「あら。 がんばるねえ」

「16回・・・。。。」

「塾遅れるよ。」

「そうね、行くわ。」

「うん、バイバイ」

「やっぱ、俺が見えとらへん。」

悲しげな龍夜を翔がなだめた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5851y/>

スクールライフ

2011年11月21日14時31分発行